
令和6年度予算編成の 基本的な考え方 (予算編成方針)

国・都の動向

国

経済財政運営と改革の基本方針2023

我が国が直面する「時代の転換点」とも言える内外の歴史的・構造的な変化と課題の克服に向け、大胆な改革を進める。

都

令和6年度予算の見積方針

- 1 持続可能な未来へと歩みを進めるため、都政の諸課題の解決に取り組むとともに、長期的な視点に立ち、従来の発想を打ち破る大胆な施策を積極的に展開すること
- 2 都民が実感できるクオリティ・オブ・サービスの向上のため、デジタルによるサービス改革を深化させるなど、社会構造の変化を踏まえて制度や仕組みのアップグレードを図りながら、強靱で持続可能な財政基盤を堅持すること

本市の令和6年度における財政見通しと削減目標

物価高騰等への対応や時代の要請に合わせた事業の展開が求められる中、安定的な歳入の確保が課題となっている。

歳入

- ・ 市税は、評価替えのため、固定資産税（家屋）の減少が見込まれる。
- ・ 投資的経費の増大に伴い、市債の借入に当たっては償還額を意識した借入額にする必要がある。

歳出

- ・ 子ども・子育て施策、DX、環境施策など時代の要請に合わせた事業に対応する必要がある。
- ・ 学校施設改築、府中の森芸術劇場改修など投資的経費が大幅に増加する。
- ・ 制度改正による人件費や物価高騰による光熱費など経常的経費が増加する。

歳出に対して歳入が不足する厳しい状況となることが想定される。

削減目標額

7億円

予算編成の基本的な考え方①

第7次府中市総合計画前期基本計画の着実な推進

令和6年度は、本市を取り巻く状況や財政見通しを踏まえつつ、第7次府中市総合計画前期基本計画に掲げる目指す都市像の実現に向けて、「令和6年度 政策立案の基本的な考え方」に基づき、施策ごとに定められている目標値の達成に向けて着実な推進を図る。

行政評価結果の反映、所管事業の優先度の精査などによる財源の重点化

限りある財源を有効的に活用するため、優先度を精査し、メリハリのある予算とする。特に、重点プロジェクトについては、「総合計画重点プロジェクト推進協議会における評価結果」を確認し、評価結果を反映した予算とする。その他の事業についても、何の目的でどのような効果を期待する事業なのかを明確にし、積極的な見直しを図る。

予算編成の基本的な考え方②

令和6年度の重点配分施策

少子化対策、子ども・子育て政策

防災・減災

市制施行70周年

DX

ゼロカーボンなど

時代の要請に合わせた施策を押し進める。
また、市制施行70周年を迎えるに当たり、
100周年を見据えた施策に取り組む。

歳出予算の見直し・財源の確保

物価高騰等により歳出の増加が見込まれる中、歳入の大幅な増加が見込めないことから、**事業の継続に当たっては実績等を踏まえ、徹底して無駄を排除する**ほか、他の自治体等で実施している財源確保策を参考にするなど、新たな財源確保に向けて積極的に取り組む。

予算見積りに当たっての留意事項①

全般

- 令和4年度の決算状況・行政評価、令和5年度の執行状況を必ず確認
- 流用元になった事業は削減
- 形骸化している事業はないか、何の目的でどのような効果を期待する事業なのか確認し、積極的な見直しを
- 補助金などの特定財源が獲得できないか確認
- 必要性等を説明するときは、誰もが納得でき、客観的に示せる数字を用意

予算見積りに当たっての留意事項②

区分ごとの留意事項

| 一次経費区分 | 内容 |
|--------|--------------------------------------|
| A経費 | 新規事業、レベルアップ事業、職員提案事業、見直し事業・廃止事業 |
| B経費 | 日額・時間額制会計年度任用職員分を除く人件費、扶助費、公債費、繰出金など |
| C経費 | 上記以外 |

A経費

- ◆ 新規・レベルアップ事業は見直し廃止による財源確保
- ◆ 基金は原則短期間の事業にのみ活用
- ◆ 費用対効果・後年度負担を明確に

予算見積りに当たっての留意事項③

B経費

- ◆ 扶助費は令和5年度当初予算**2%増**が限度
- ◆ **赤字補てん**分の繰出金は、適正なあり方の検討を進めること

C経費

- ◆ 重点プロジェクト・施設管理経費は現状維持(ただし行政評価結果を反映)
- ◆ 行財政運営に関する施策に係る経費は**2%減**
- ◆ その他の事業は**6%減**
- ◆ イベント事業は「**効果的なイベント事業の実施に係る基本方針**」に沿って計上

予算見積りに当たっての留意事項④

投資的経費(二次経費)

- ・ 優先順位を決定する際には、債務負担行為解消分や緊急度の高いものを優先すること
- ・ **懸案事項を整理し、課題の解消**を図った見積を行うこと(十分に検証し課題を洗い出すこと)
- ・ 施行方法や発注時期を工夫するなど**コストの縮減・入札不調の回避**に最大限努めること
- ・ 公共施設マネジメント、インフラマネジメントを踏まえ、**中長期的な視点**を持つこと

歳入

- ・ 市税は、税制の動向、これまでの推移、徴税努力の効果を反映
- ・ **クラウドファンディング**を活用
- ・ 市債は、将来の財政負担を考慮し、適正な範囲内で借入

特別会計・公営企業会計

- ・ 各特別会計・下水道事業会計は、一般会計からの繰入基準に沿って適切な見積りを
- ・ 競走事業会計は、売上増に努め、収益事業収入を確保

※ 見積りに当たっては、別に定める予算編成要領・予算編成基準により積算すること